平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	議会事務局の運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	1	1	1	
政策	41計画の実現のために	担当課室	議会事務局			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	桂本　弘明			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	議員改選に伴う一連事務を円滑に実施する。また、議会活動等の透明性を確保するため、効果的な事業の展開を図っていく。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	議会運営を円滑に進めるとともに、議会活動等の透明性を確保するため、効果的な事業の展開を図っていく。
②①に基づく取組み結果	議員改選事務が円滑に遂行され、議員改選が滞りなく行われた。また、政務活動費に係る領収書等のHPでの公開を開始した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、市議会議員	意図（対象をどうするのか）	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行う。
②事務事業の概要	憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行うため、その事務を所掌する議会事務局の運営に要する経費。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	地方分権がより一層進む状況の中で、今後とも議会活動等の透明性の確保、内容を広く周知すること及び新たな政策提案を求められている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果：適切な事業計画に基づき費用対効果に十分配慮した上で、遅延することなく事業を実施することができた。

②成果を表す指標

	指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
i	傍聴者数	565	460	375	人	業務取得
ii						
iii						

③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）	24,806	24,995	金額（千円）	内容	30,415
国支出金（千円）			4,495	会議録反訳委託	
県支出金（千円）			1,833	議会中継システム	
市債その他（千円）			1,190	議会だより折込委託	
一般財源（千円）	24,806	24,995	2,854	映像設備・音響設備使用料	30,415

Ⅳ　評価・検討

①課題	地方分権の進捗に伴い、議会活動の透明性の確保と内容の周知と併せて、新たな政策提案が求められている。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	より効率的かつ効果的な議会運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画		計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績			0	当初		0	H28からの繰越
				H28⇒29繰越			
③達成状況				補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）					